

NO.9 ハンドボール

スローオブチーム 大阪店

5

日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. q
(16名用)

A	東京都	大阪府	B
合計	22	10 11 14 — 2	21 合計

A 石川 譲和

Zn_xTc

2

二

大金名 平成27年度 第70回国民体育大会ハンドボール競技

平成27年 10月 1日(木) 場所 和歌山市立河南総合体育馆

種別 少年 男女 回数 報告 決勝 リーグ

A	東京都	警 告	退 場	失 格	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	石川 浩和					11	43
役員B	安藤 希沙					21	31
役員C	宿利 政夫				得 点		
役員D					前半	後半	合計
1	鈴木 梨美						
2	青 麗子				手	T	3
3	吉田 瑞萌						
4	脇田 葉				一	一	2
5	高木 紗加				一		1
6	初見 実椰子				T	正	7
7	橋爪 空瑠美				手	一	1
8	橋田 明日菜				T		2
9	金城 ありさ					T	2
10	山田 美穂				T	一	3
11	奈良 萌々子					一	1
12	大沢 アビ直美						

合計 32 (2 12 2)

合計 31 114 21

特記學項

ハンドボール N.8

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会
戦評報告書

競技日	平成27年10月 1日	試合番号	C-q
種別・回戦	少年女子 準決勝	会場	河南総合体育館

とうきょうと		おおさかふ		得点チェック欄	
東京都		大阪府			
22	10	前半	7	前半	<input type="checkbox"/>
	7	後半	10	後半	<input type="checkbox"/>
	4	第1延長 前半	2	第1延長	<input type="checkbox"/>
	1	第1延長 後半	2	第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半		7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半		合計点	<input type="checkbox"/>
		7mTC		記録主任確認	<input type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	中岸 速人
<p>準決勝第2試合、大阪のスローオフで試合開始。1分、東京6番初見の7mスローが決まり、東京が先制するが大阪も負けじと4番山口が7mスローを決める。大阪は東京のオープンデフェンスに、高さのある攻撃が使えず思うように得点が上がらない。その間に東京6番初見、8番櫛田の得点で東京が終始リードを奪う。20分、東京2番青の7mスローが決まり8対5、ここで大阪は流れを変えようとゴールキーパーも攻撃に参加する7人攻撃を行なうが、これも流れを変えることが出来ず、逆に東京に連続得点を決められ引き離されてしまう。大阪も5番西村のシュートや4番山口のポストシュートが決まり必死に食らい付いていく。10対7、東京が3点リードで前半が終了する。</p> <p>後半、東京2番青の得点から始まる。大阪も速攻から7番吉岡のシュートが決まり、後半序盤は点の取り合いとなる。東京のオープンデフェンスに対して大阪はダブルポストで応戦するも、東京ゴールキーパー1番鈴木の好セーブもあり、なかなか波に乗り切れない。互いに点を奪い合う展開が続き、試合は東京3点リードで終盤に入る。ここで、東京に退場者出て、ここぞとばかり大阪が猛攻をかける。徐々に大阪に流れが傾きかけ23分、大阪6番土居のシュートが決まり1点差となる。その後、激しい攻防が続いたが残り3分、大阪が同点に追いついたが、直後に東京4番櫛田にシュートを決められ再度リードを奪われる。残り30秒、大阪2番藤村が起死回生の同点ゴール、試合はそのまま延長戦となる。延長前半、互いに点を取り合うところで、東京ゴールキーパー1番鈴木の好セービング。直後に東京10番山田のサイドシュートが決まり、東京2点リードで延長後半へ。東京の必死のディフェンスに大阪はなかなか点を奪えなかつたが、5番西村と4番山口の連続ゴールで残り時間10秒で同点に追いつく。誰もが7mスローコンテストと思われた瞬間、東京2番青の超ロングシュートが決まり、劇的な幕切れとなった。22対21で東京が激戦を制した。</p>		

送信担当記録委員	中本 富基
----------	-------

